



ファジアーノ岡山

ホームゲームでの新型コロナワクチン接種会場設置 1/2

当初、全国的にも高かった県の接種率だが、夏頃にワクチンの供給が一時減少した影響でペースダウン。特に若年層の割合が低いことからスタジアム観戦来場者に向けて接種促進連携事業として接種会場設置依頼があった。ホームゲーム会場に接種会場を設置することで、未接種者の接種促進と県内の感染拡大防止につなげることを目的に協働した。事前予約定員120名に達し、当日会場で接種が実施された。



活動場所 シティライ dstadium



協働者

行政、公益財団法人

協働者名

岡山県、公益財団法人岡山県健康づくり財団



協働者の声

岡山県保健福祉部保健福祉課ワクチン対策室／室長 塩飽 成史 氏

若い世代で打てていない方にいかに(ワクチンを)打ってもらえるかこういうイベントにあわせてやってみたらというのがきっかけ。岡山県はイベントとあわせて接種会場を設けることで、若い世代へのワクチン接種の周知を図っていきたい。



活動詳細情報

[岡山県公式HP](#)[公式サイト](#)[岡山県公式Twitter](#)[公式Twitter](#)

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ





ファジアーノ岡山

ホームゲームでの新型コロナワクチン接種会場設置 2/2

Story

岡山県が若年層の新型コロナウイルスワクチンの接種に力を入れている中、接種率を上げる施策を様々考えられていた。施策の一案としてスポーツ観戦来場者への周知を検討され、日頃より様々な取組連携をしている弊クラブへ依頼があった。当初、全国的にも高かった県の接種率だが、夏頃にワクチンの供給が一時減少した影響でペースダウン。特に若年層の割合が低いことが課題であることもうかがった。喫緊の社会課題解決に向け、少しでも地域への恩返しになればという思いで協力をさせていただいた。岡山県としては、多くの方にワクチン接種ができることを周知することと、若者の接種促進



につなげることが目的でもあったため、ホームゲーム会場にてワクチン接種会場の調整を行うことにした。相談時にはすでに既存のイベント調整が済んでいる状況であったため、設置場所の調整から社内でおこなった。来場者の動線から離れていたりアクセスの悪い場所ではせっかくの取組を上手くPRできないため、多くの来場者が通る正面玄関前付近の設置を検討した。しかし十分な広さを確保できない場所であったため、弊社運営担当者に相談し、ワクチン接種に必要なスペースと現地のスペースを測定し、岡山県と岡山県健康づくり財団の3者でレイアウトを作り上げた。多くの来場者の目に触れる場所にワクチン接種会場を設置することに成功。ワクチン接種は事前申込制としたが、接種しない来場者へも視覚的にPRすることで社会課題解決に取り組んでいることをPRすることができた。また事前申込では短期間にも関わらず定員に達し、114名(予約は120%)の方が接種された。実際に接種された方は、接種する機会がなかつたなどの理由だった。スタジアム観戦と合わせ、ワクチン接種可能という企画はとても相性がよく、反響もあったと実感した。



地域の課題をクラブがハブになって解決できる存在であり続けたいと改めて感じた取組となった。今後も何か困ったらファジアーノ岡山に相談してみようと思ってもらえるよう、地域の皆さんと一緒に様々なことを取り組んでいきたい。